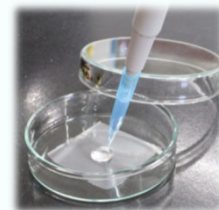


お任せ下さい!

抗菌試験



試験方法

JIS Z 2801 : 2010 抗菌加工製品-抗菌性試験方法・抗菌効果

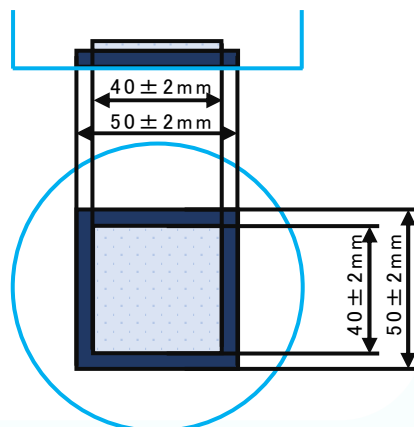
対象品

プラスチック製品・金属製品・セラミック製品など
(繊維製品・光触媒抗菌加工品を除く)

試験の流れ

試験菌液として黄色ブドウ球菌及び大腸菌を用いて以下の通りに行います

- ①抗菌加工試験片及び無加工試験片(50mm×50mm)に試験菌液0.4mlをそれぞれ滴下し、ポリエチレンフィルム(40mm×40mm)で被覆し密着
- ②この試験片を35℃、相対湿度90%以上で24時間保存
- ③保存後、試験菌液を試験片及びフィルムから洗い出し、混釈平板培養法により生菌数を計測、単位面積当たりの生菌数を算出



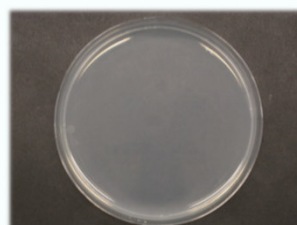
ご準備いただくもの

抗菌加工試験片：12枚以上(大きさ50mm×50mm、厚さ10mm以内)

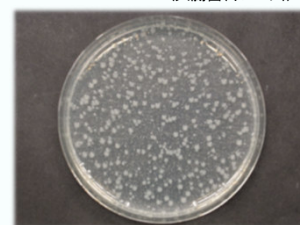
無加工試験片：24枚以上

(無加工試験片が準備できない場合は、弊所でポリエチレンフィルムを準備)

試験片の大きさが異なるなどの場合は、ご相談ください



効果あり



効果なし

(大腸菌(イメージ))

抗菌加工品の抗菌効果

製品上の24時間後の試験菌の生菌数が無加工製品上の生菌数の1%以下(抗菌活性値2.0以上)となることと定義されています。

抗菌活性値 = $\log(\text{無加工試験片の生菌数}) - \log(\text{抗菌加工試験片の生菌数})$

お問合せ TEL 0256-93-5588

一般財団法人 新潟県環境衛生研究所
新潟県燕市吉田東栄町8番13号

